

▶ 第11章

停滞する朝鮮半島インフラプロジェクト

——ロシアの視点から

環日本海経済研究所 調査研究部長・主任研究員

新井 洋史

【ポイント】

- ▶ ロシアは、「東方シフト」というコンセプトの下、アジア太平洋地域との経済関係を強化しつつ、極東地域開発を進める政策を展開している。こうした文脈の中でロシアは、朝鮮半島を連結するインフラプロジェクトの当事国の1つとして、首脳会談や政府間協議などを通じて、実現の道を探ってきた。
- ▶ 様々な構想のうち、部分的に鉄道と港湾を改修する「ハサン・羅津プロジェクト」は実現したが、朝鮮半島縦貫鉄道整備という大きな目標からすれば、ごく一部が実現したに過ぎない。また、天然ガスパイプラインについては、メドベージェフ・李時代に精力的に協議が行われた（下図）が、実現には至っていない。
- ▶ 北朝鮮に対する国連制裁や、ロシアに対する欧米諸国の経済制裁が続く中で、当面は、大規模なインフラ整備の進展を見込むことは難しい。



ロシア、北朝鮮首脳相互訪問（2000年以降）

年	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
北朝鮮	金正日											金正恩									
		▼	▼									▼									▼
ロシア	▲																				
		プーチン						メドベージェフ				プーチン									
	▼					▼						▼	▼		▼						
韓国					▲	▲				▲		▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲	
	金大中			盧武鉉				李明博				朴槿恵			文在寅						

▲▼は各首脳が訪問した方向を示す。

資料：各種報道、資料から筆者作成